



令和3年台風第16号に係る災害警戒会議

【日 時】令和3年9月28日(火)午後1時45分～

【場 所】第4応接室（県庁本庁舎3階）

【参加者】知事、副知事、統轄監、危機管理局、農林水産部、県土整備部、
鳥取地方気象台

※副知事、統轄監は別室にて参加

※各総合事務所、市町村、消防局、自衛隊には映像配信

【次 第】

1 最新の気象状況、今後の予測等（鳥取地方気象台資料）

2 市町村・県民への注意喚起等

（1）市町村への依頼事項

（2）県民への注意喚起等

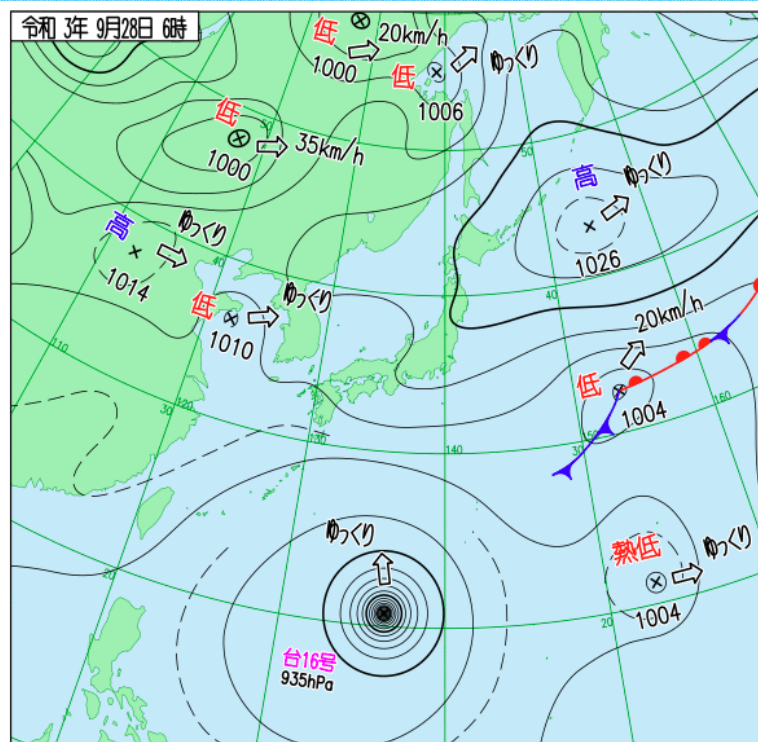
3 警戒・即応体制の確保等

（1）県の体制

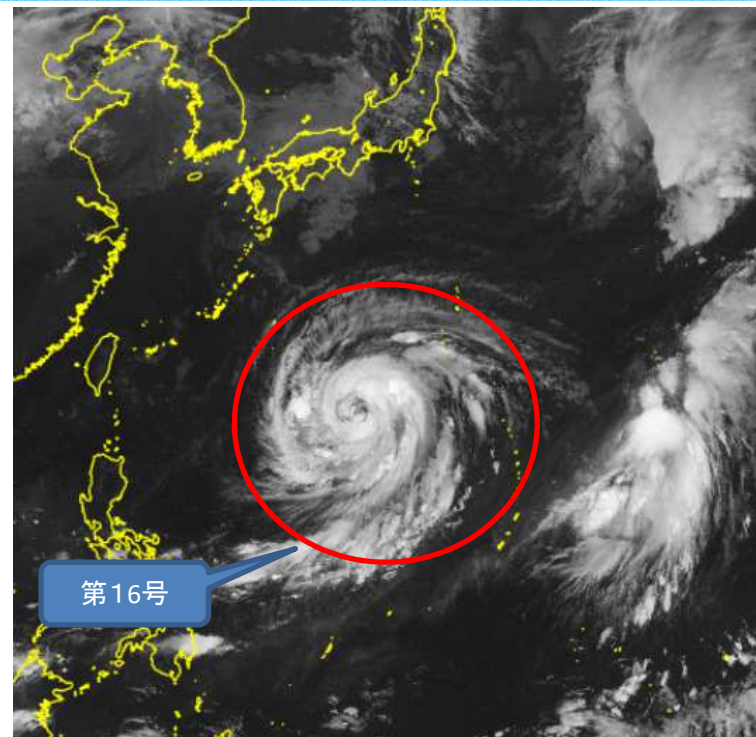
（2）各部局等の対応

1 最新の気象状況及び今後の予測等

実況（地上天気図と衛星画像）



地上天気図 28日06時



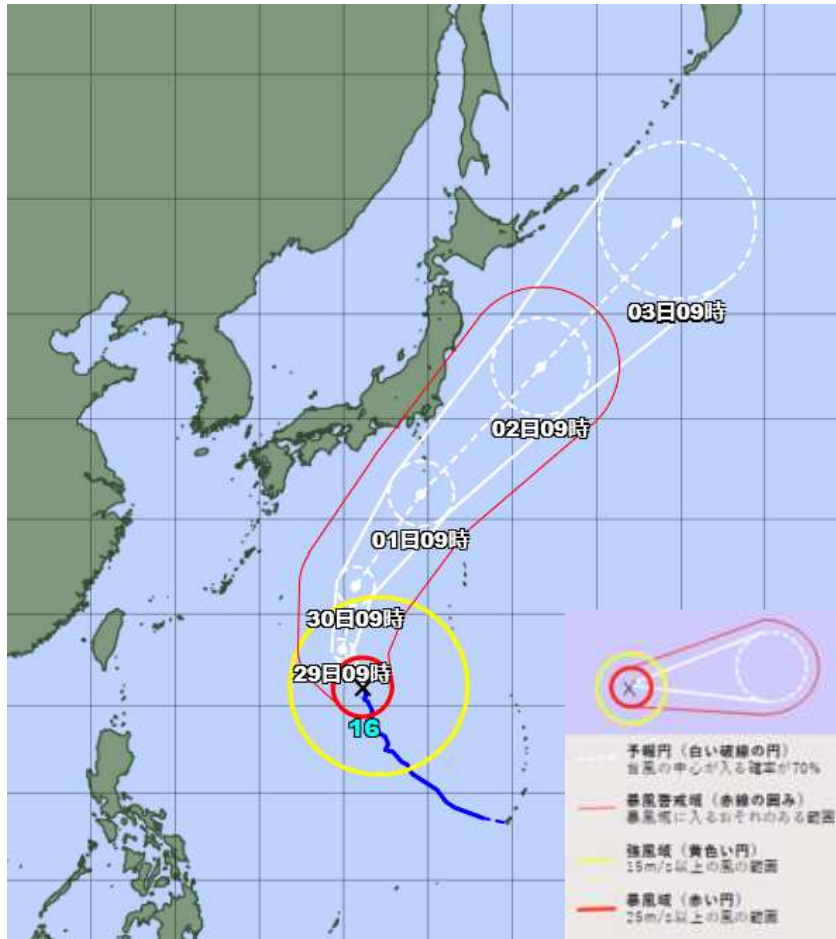
衛星画像 28日09時

大型で非常に強い台風第16号は、28日09時には日本の南の北緯21度00分、東経136度05分
にあって、ゆっくりした速さで北へ進んでいます。中心の気圧は935hPa、中心付近の最大風速は50
メートルです。

台風周辺には活発な雨雲があります。

台風第16号の進路予想

台風第16号(ミンドウル)
2021年09月28日09時50分発表



台風進路予想 (28日09時)

28日09時の実況
種別 台風
大きさ **大型**
強さ **非常に強い**
存在地域 日本の南
中心位置 北緯21度0分(21.0度)
東経136度5分(136.1度)
進行方向、速さ 北 ゆっくり
中心気圧 **935hPa**
中心付近の最大風速 **50m/s(95kt)**
最大瞬間風速 70m/s(135kt)
25m/s以上の暴風域 全域 185km(100NM)
15m/s以上の強風域 東側 650km(350NM)
西側 440km(240NM)

29日09時の予報
種別 台風
強さ **非常に強い**
存在地域 日本の南
予報円の中心 北緯23度5分(23.1度)
東経134度55分(134.9度)
進行方向、速さ 北北西 10km/h(6kt)
中心気圧 **925hPa**
中心付近の最大風速 **50m/s(100kt)**
最大瞬間風速 70m/s(140kt)
予報円の半径 65km(35NM)
暴風警戒域 全域 270km(145NM)

30日09時の予報
種別 台風
強さ **猛烈な**
存在地域 日本の南
予報円の中心 北緯26度30分(26.5度)
東経135度40分(135.7度)
進行方向、速さ 北 15km/h(9kt)
中心気圧 **915hPa**
中心付近の最大風速 **55m/s(105kt)**
最大瞬間風速 75m/s(150kt)
予報円の半径 110km(60NM)
暴風警戒域 全域 330km(180NM)

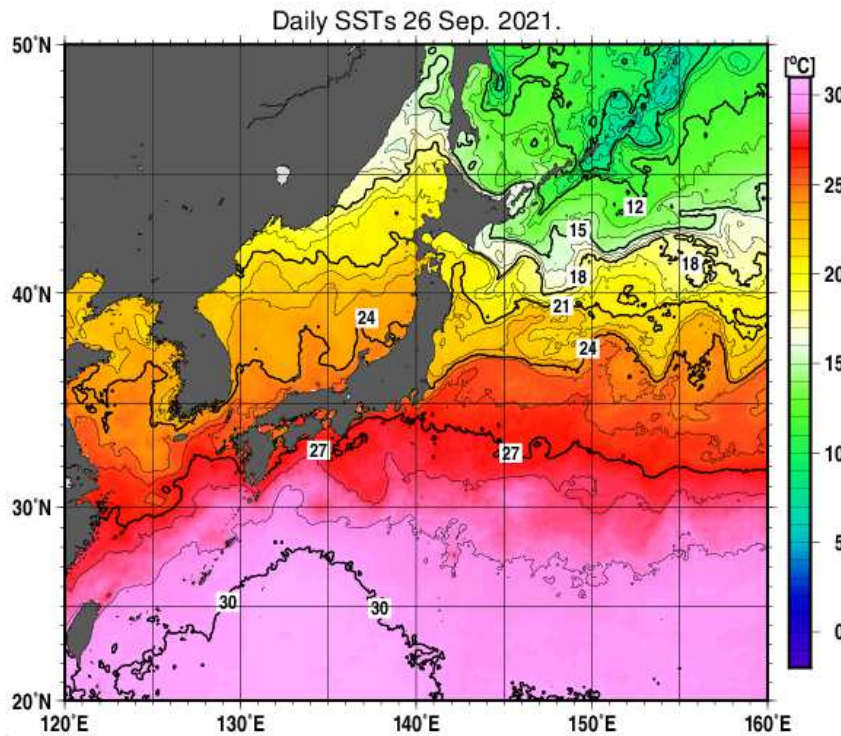
01日09時の予報
種別 台風
強さ **非常に強い**
存在地域 伊豆諸島近海
予報円の中心 北緯31度20分(31.3度)
東経139度35分(139.6度)
進行方向、速さ 北北東 30km/h(15kt)
中心気圧 **950hPa**
中心付近の最大風速 **45m/s(85kt)**
最大瞬間風速 60m/s(120kt)
予報円の半径 185km(100NM)
暴風警戒域 全域 330km(180NM)

02日09時の予報
種別 台風
強さ **強い**
存在地域 日本の東
予報円の中心 北緯37度30分(37.5度)
東経146度40分(146.7度)
進行方向、速さ 北東 40km/h(21kt)
中心気圧 **975hPa**
中心付近の最大風速 **35m/s(65kt)**
最大瞬間風速 50m/s(95kt)
予報円の半径 260km(140NM)
暴風警戒域 全域 410km(220NM)

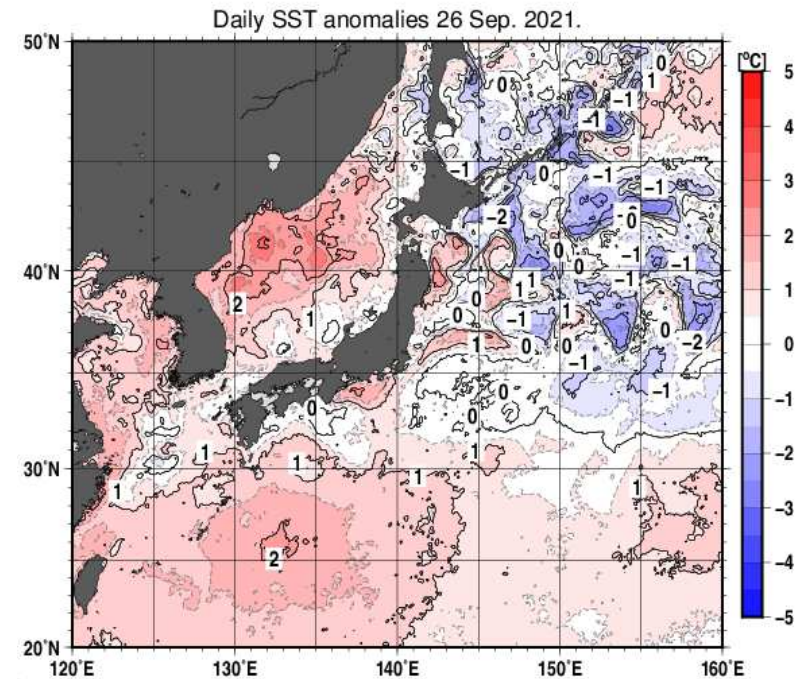
03日09時の予報
種別 **温帯低気圧**
強さ -
存在地域 日本の東
予報円の中心 北緯44度0分(44.0度)
東経154度50分(154.8度)
進行方向、速さ 北東 40km/h(22kt)
中心気圧 **980hPa**
最大風速 25m/s(50kt)
最大瞬間風速 35m/s(70kt)
予報円の半径 370km(200NM)

海面水温

9月26日



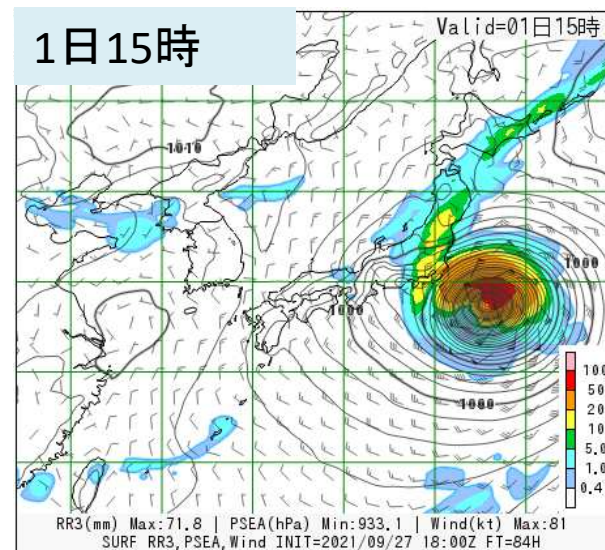
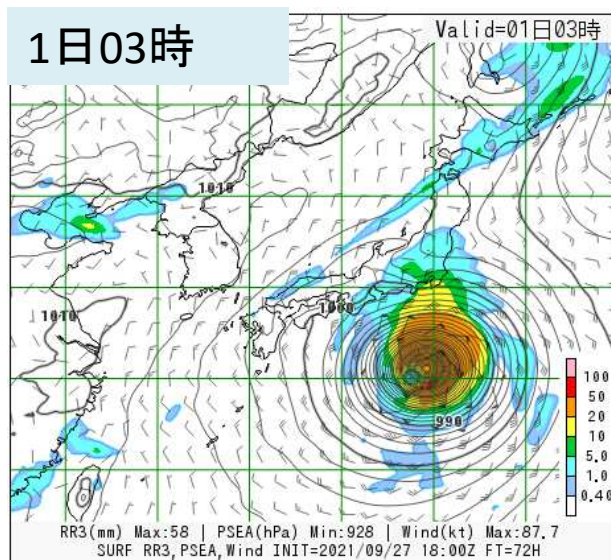
海面水温



平年差

日本の南の海面水温は平年より高く、
この領域を進むため台風は発達する見込み。

予想図と週間予報



天気予報 (一覧表)

日付	今日 28日(火)	明日 29日(水)	明後日 30日(木)	01日(金)	02日(土)	03日(日)	04日(月)	05日(火)
鳥取県	曇 	曇後晴 	曇時々晴 	曇一時雨 	晴時々曇 	晴時々曇 	晴時々曇 	晴時々曇
降水確率(%)	-/-/10/20	20/10/10/0	30	50	10	10	20	20
信頼度	-	-	-	C	A	A	A	A
鳥取 最低/最高(°C)	- / 28	22 / 29	20 / 30	19 / 25	17 / 27	16 / 29	17 / 30	18 / 28

台風本体の雨雲はかからない見込み。

1日は、日本海からのびる前線が通過し、雨が降る。

今後の見通し（28日09時現在）

- 台風第16号は、日本の南を北上し、伊豆諸島を通過する見込み。
- 鳥取県から離れて通過するため、台風本体の雨雲はかからない見込み。
- 1日は日本海からのびる前線が通過し北寄りの風となる。雨が降りやすく強風注意報の可能性あり。
- 今後も気象情報に十分留意してください。

2 市町村・県民への注意喚起等 今回の台風を迎えるにあたっての注意事項

- 台風は、鳥取県から離れた位置を通過しますが、非常に強い勢力を維持したままとなる見込みです。
- 本県は暴風域にはかからない予想ですが、台風の進路によっては、風速15m/s以上の強風域が本県にかかる可能性があります。
- 本県では、台風の最接近や前線の通過が予想される10月1日ごろに、降雨や北寄りの強風となる見込みです。
- 県民のみなさま、各市町村におかれては、特に強風に対する準備をお願いします。

○強風による飛散、転倒、飛来物による破損への備え

★あらかじめ強風への備えをしておきましょう。

- ・家の周囲にある倒れやすいものなどは、固定するか家の中に入れておく。
- ・窓ガラスに飛散防止用のフィルムを貼っておく。
- ・電柱が倒れて停電・断水になることがあるため、備蓄をしておく。

★強風が吹いている間は注意を怠らないように。

- ・飛散物や転倒による負傷を避けるため、外出はできるだけ控える。
- ・窓やシャッターを閉め、窓ガラスの飛散防止のためカーテンも閉める。

2 市町村・県民への注意喚起等

(1) 市町村への依頼事項(その1)

■ 安全な住民避難のための適時・適切な情報発信

誰ひとり逃げ遅れることなく安全に避難する意識を住民一人ひとりが持つよう、以下の点などを改めて住民に周知してください。

- 早め早めに安全な場所に避難すること（自主避難含む）
- 災害の切迫度に応じて、「警戒レベル3 高齢者等避難」、「警戒レベル4 避難指示」、「警戒レベル5 緊急安全確保」が発出されること
- **「警戒レベル4 避難指示」**で、**危険な場所から全員避難**すること
- 防災・気象情報をこまめにチェックすること など

避難情報の発信については、従来どおり、次の点にも留意してください。

- 早期の発出
- 様々な手段を用いて、確実に住民へ伝達
- 夜間の状況を予測して、早め早めに発出を判断

※状況が急変した場合には、夜間でも避難情報の発出は必要（その際は、垂直避難など立ち退き避難に限らないことを併せて知らせる）

2 市町村・県民への注意喚起等 (1) 市町村への依頼事項(その2)

○適時適切な状況判断と住民避難対策の徹底

浸水・土砂災害リスクが高い 地域の対策

⇒過去に被害のあった地域など、
対策の再確認をお願いします

- ・詰まりやすい用水路の点検や清掃
- ・水位計や監視カメラがない中小河川の状況を収集する体制、連絡系統の確認
- ・必要に応じて排水ポンプ車の要請
- ・土砂災害警戒区域における前兆現象等の確認 など

初動対応、避難体制の確立

- ・気象情報の収集伝達、職員参集体制の確認
- ・避難指示等の発令基準や消防団等への連絡手段の確認、
ハザードマップを活用した対応
- ・要配慮者利用施設等への情報伝達体制、避難誘導上の配慮等の確認 など

適切な避難情報の発令

- ・避難情報の判断にあたっての情報収集
- ・必要に応じて県関係課へ助言を求めること

被害規模の早期把握・報告

- ・住家被害などの迅速な報告（**災害救助法の適用**などの判断に必要となる） など

2 市町村・県民への注意喚起等

(1) 市町村への依頼事項(その3)

○避難所における新型コロナウイルス等感染症への対応

可能な限り多くの避難所を開設

通常 of 自然災害発生時よりも可能な限り多くの避難所の開設を図り、避難者の密度が高まらないよう配慮。また、利用可能なホテルや旅館等の活用等も検討。

避難者の健康状態の確認

避難者が避難所へ到着した時に体調不良者を早期発見できるよう、検温など可能な限りの健康チェックを行い健康状態を把握。

基本的な衛生対策の徹底

頻繁な手洗い、咳エチケット等、避難者及び避難所運営スタッフの基本的な衛生対策の徹底。

避難所内の環境整備 (換気、間隔の確保など)

避難所内での十分な換気の実施、避難者同士の十分な間隔を確保。必要に応じて段ボール間仕切りや段ボールベッドを活用。
※ホテル・旅館等の民間施設借上げ、避難所の設置、維持及び管理に要する費用は、国の新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金の活用が可能。

在宅避難者の把握

在宅避難者の把握に努めること

2 市町村・県民への注意喚起等 (2) 県民への注意喚起等(その1)

○最新の気象情報や防災情報に基づいて行動してください

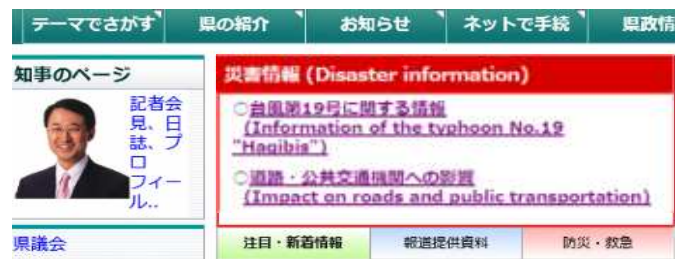
■最新の気象情報は、気象庁のホームページ等で確認を。

- ・警報、注意報等
- ・台風情報
- ・キキクル（危険度情報）など



■市町村は防災行政無線等、県はホームページ、トリピーメール、防災アプリ等で防災情報や公共交通機関の運行情報等を発信。

- ・避難情報・避難所開設状況
- ・交通情報
- ・道路情報
- ・ライフライン情報 など



ホームページ「とりネット」

注意情報などのまとめページを設置
(トップページの「防災・救急」又は特設リンクから)

「あんしんトリピーメール」

スマホや携帯電話等に気象情報や防災情報等をメールで配信

「あんしんトリピーなび」

鳥取県が提供する無料の総合防災アプリ
(プッシュ通知や最寄りの避難所情報など)

■ NHKのデータ放送（生活・防災情報）やヤフー防災速報でも各種防災情報が確認可能。

2 市町村・県民への注意喚起等

(2) 県民への注意喚起等(その2)

○避難における新型コロナウイルス等感染症への対応について

新型コロナウイルス感染者が引き続き発生していることから、避難所で感染症にかからない・うつさないため、次のことに注意してください。

<避難する前に・・・>

- 体調の確認 ……ご自身の体調を確認しましょう。避難する途中で体調がすぐれなくなった場合には、避難所の受付で相談しましょう。
- 避難先の検討 ……安全が確保できる場合は、自宅での待機や近隣の親せきや知人宅への避難（分散避難）も選択肢の一つです。お住いの地域が危険かどうかハザードマップも確認して、避難先を決めましょう。
- マスク等の持参 ……可能なかぎり、マスク・体温計・消毒液を持参しましょう。

<避難した後は・・・>

- マスク着用、手洗い ……避難所で生活する時は、必要に応じてマスク着用、手洗い、咳エチケットなどをしっかり行ってください。
- 距離の確保 ……ほかの避難者と十分な距離をとるようにしましょう（概ね2 m）
- 換気の実施 ……十分な換気を行うよう心がけましょう。
- 健康管理 ……避難生活をする中で、発熱や咳などの症状がある場合には、すぐに避難所の担当者に報告してください。

2 市町村・県民への注意喚起等 (2) 県民への注意喚起等(その3)

○ハザードマップ等の再確認について

過去の災害では、ハザードマップの浸水想定区域と実際の浸水域、土砂災害警戒区域と土砂災害の発生個所が重なっている事例があります。平時から市町村が作成した「ハザードマップ」、県の「とっとりWebマップ」、国土交通省「ハザードマップポータルサイト」等で、ご自宅や近隣のハザード（土砂災害、洪水など）を確認しておいてください。



3 警戒・即応体制の確保 (1) 県の体制

- ◆現時点では、本県への影響について警戒・監視を行うとともに、各部局において適時、県民等への注意喚起等を行う。
- ◆本県へ影響を及ぼすおそれがある場合には、体制の引き上げ等を行い、迅速に対応する。

3 警戒・即応体制の確保

(2) 各部局等の対応

公共土木施設の対応

- 台風接近による大雨・強風の影響に備え、事前に道路や河川等のパトロールを実施するとともに、警戒体制や水防体制を強化する。

1 被災箇所への対応

- 7月豪雨や台風9号、8月豪雨により被災した道路や河川で、通行規制や被害の拡大の恐れのある箇所については、すでに大型土嚢の設置等の応急対策を実施済。
- 強風に十分備え、道路・河川・砂防関係の被災箇所等を中心に事前にパトロールを行うとともに、注意報・警報等の発表により適宜、パトロールを行う。

2 河川・ダム・砂防

(1) 河川等の確実な排水機場の稼働及び適切な樋門操作

- 樋門等の適切な操作及び住民避難等に関する情報の発信・伝達、点検、体制強化を図る。
- 河川パトロールによる水位情報の把握や排水ポンプ車の支援体制の確認を徹底する。

(2) ダムの管理

- 治水ダムについては、洪水に備え、治水容量を確保している。

公共土木施設の対応

3 道路

(1) 高速道路の事前通行規制(県土整備部、国土交通省)

- 鳥取西道路等の高速道路については、一定の条件で事前通行止めすることとなっており、国土交通省と連携し、道路情報板や案内看板で迂回路へ誘導する体制を整えている。

(2) 倒木・冠水への対応

- 台風9号の際に各地で倒木による道路規制が発生したことを踏まえ、強風時のパトロールを強化するとともに、倒木が発生した際に速やかに撤去等の対応できる体制を整えている。
- 道路冠水に備え、交通規制や迂回路の確保が迅速に行える体制を整えている。

4 その他

(1) 工事現場の対応

- 現在稼働している工事現場については、現場内の資材の固定状況などの現場点検を実施し、安全対策を徹底する。

(2) (一社)鳥取県建設業協会と災害時応援協定に基づく対応

- 災害発生時には、「災害時における応急対策業務等に関する基本協定書」に基づいて対応していただくよう、(一社)鳥取県建設業協会に事前に要請している。

企業局のダム管理体制

1 ダムの管理

- ・企業局のダムについて、水系毎の治水協定に基づき、予測降雨量が基準降雨量(事前放流を開始する基準)を超える場合は事前放流を実施する。
- ・水位が上昇し、ゲートから放流する場合は、ホットラインの活用と、サイレンによる警告を行う。

2 ダムの状況

・茗荷谷ダム(若桜町)

ダム水位 5.5m (28日 8時)

(放流ゲート下端 6.5m、常時満水位 10m)

貯水率 44%

・中津ダム(三朝町)

ダム水位 7.9m (28日 8時)

(放流ゲート下端 11.5m、常時満水位 16m)

貯水率 26%

農林水産関係への対応

農業者、関係団体などへ台風期における各種対策等、注意喚起を実施

1 農業関係

○「台風期の農業技術対策(秋期)」について、各市町村、農協、農林局等を通じて生産者へ周知。

[連絡内容] ①農作物の管理について(排水防風対策等)

②降雨後のほ場の排水対策、病害防除等について

[主な農作物の技術対策(状況)]

水稲	・台風通過後の速やかな排水対策。 ・コシヒカリ等の刈り取りが進んでおり、全体の約4割終了。星空舞は刈り取りはじめ。
梨	・防風網補強や、棚線固定により果実の揺れ防止及びほ場の排水対策。 ・二十世紀、新甘泉は終了。・新興は10月上旬、王秋は10月下旬から出荷開始予定。
柿	・枝固定により果実の揺れを防止。・輝太郎は9月27日から出荷開始。
白ねぎ	・ほ場の排水対策。・10月1日から秋冬どりが出荷開始予定。
ブロッコリー	・ほ場の排水対策。・植え付けは、7~8割程度終了。

2 農地・ため池関係

○台風期における防災体制の強化について、各市町村、農林局へ依頼。

○7月豪雨で被災したため池については、低水位管理を実施中。

※防災重点ため池の緊急連絡体制は各市町において整備済。

3 林業関係

○各林業関係組合に対して、土砂災害等の注意喚起など各組合員への安全対策・安全管理の徹底を依頼。

4 水産関係

○各漁業協同組合や水産関係団体向けに、注意喚起を実施。